

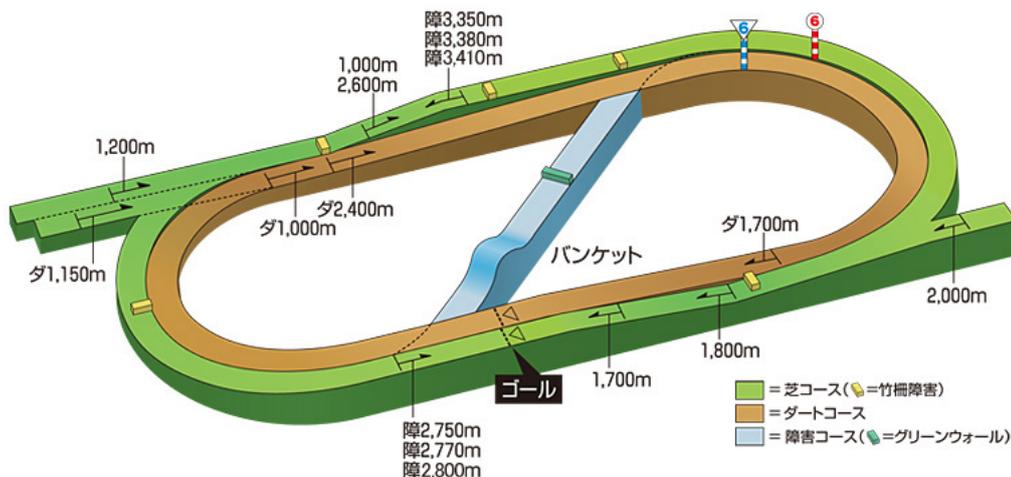


「福島競馬場徹底攻略ガイド」

presented by KAZ@競馬はビジネスである



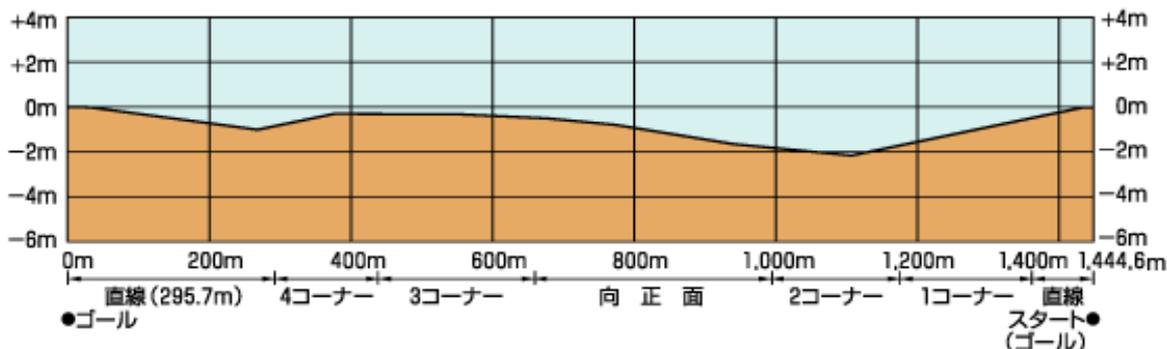
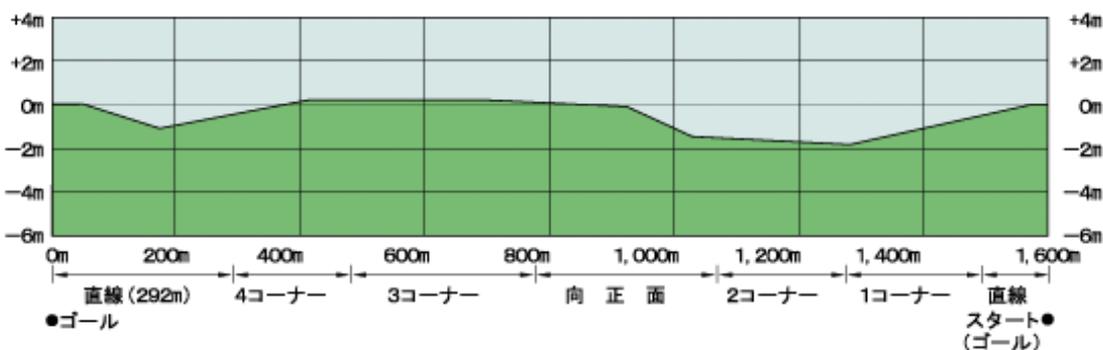
～福島競馬場の特徴～



本州では唯一と言っていい小回りのローカルコース。直線距離は函館競馬場に次ぐ短さで、基本的には先行力や立ち回りセンスが問われるのだが、ファンがイメージしている以上に起伏に富んだコースで、なおかつ開催後半になると馬場が荒れて外からの差しがズバッと決まるのが特徴。

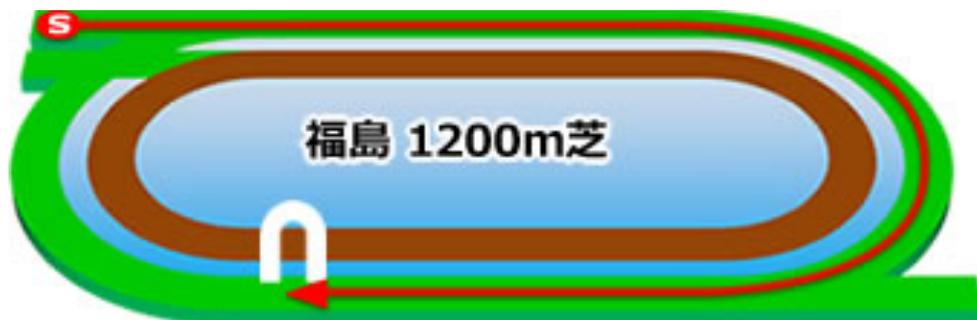
以前は開催後半になると馬場がメタメタに荒れて顕著な外差し馬場になることが多かったが、最近ではエクイターフの導入によってそこまで開催後半でも馬場が荒れることは少なくなった。

ただ、エクイターフ比重が最も大きい競馬場ということもあってか、馬場コンディションが良くても速い時計は出ない傾向。開幕週でも標準レベルの時計に落ち着きますし、あまり時計が出ない分で他のローカル小回り競馬場ほどに反則的な前残りレースも発生しにくくなっている。



福島芝1200m

実にシンプルで分かりやすいローカルのスプリント戦



福島芝1200mはローカルの小回りスプリント戦らしく実にシンプルで分かりやすいレース傾向。下級条件はスピード上位の先行馬が圧倒的に有利になりますし、上のクラスに行けば行くほど差が決まるようになります。また、開催序盤はイン先行有利で、後半になればなるほど外からの差が決まるのもイメージ通り。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	33- 23- 12- 56/ 124	26.6%	45.2%	54.8%	262	167
平地・先行	56- 59- 44- 282/ 441	12.7%	26.1%	36.1%	75	92
平地・中団	29- 35- 50- 574/ 688	4.2%	9.3%	16.6%	40	61
平地・後方	6- 8- 17- 520/ 551	1.1%	2.5%	5.6%	8	26
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※福島芝1200mの脚質別成績(2022年6月～)

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	4- 1- 3- 15/ 23	17.4%	21.7%	34.8%	252	125
平地・先行	6- 8- 5- 67/ 86	7.0%	16.3%	22.1%	59	78
平地・中団	10- 11- 9-105/135	7.4%	15.6%	22.2%	46	90
平地・後方	3- 3- 6- 81/ 93	3.2%	6.5%	12.9%	30	69
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※福島芝1200m2勝クラス以上の脚質別成績(2022年6月～)

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	29- 22- 9- 41/ 101	28.7%	50.5%	59.4%	265	176
平地・先行	50- 51- 39- 215/ 355	14.1%	28.5%	39.4%	79	95
平地・中団	19- 24- 41- 469/ 553	3.4%	7.8%	15.2%	39	54
平地・後方	3- 5- 11- 439/ 458	0.7%	1.7%	4.1%	4	17
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※福島芝1200mの新馬、未勝利、1勝クラスの脚質別成績(2022年6月～)

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	戸崎圭太	10- 4- 5-15/34	29.4%	41.2%	55.9%	103	91

好走データで言えば戸崎騎手、デムーロ騎手、菱田騎手あたりが成績良いですが、その中でも戸崎騎手はこの条件で圧倒的な存在感を誇ります。

順位	生産者	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ノーザンファーム	10- 9- 12-101/132	7.6%	14.4%	23.5%	26	57
2	下河辺牧場	6- 5- 4- 22/ 37	16.2%	29.7%	40.5%	84	137

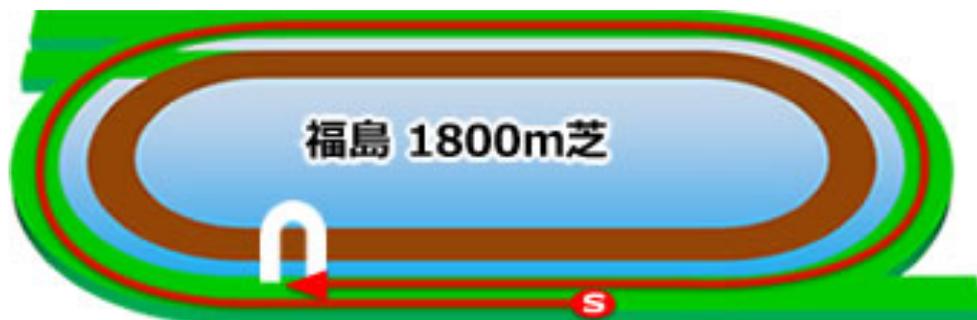
下河辺牧場生産馬の成績も非常に良いので覚えておいた方が良さそうです。

<まとめ>

- 基本はローカルらしい前有利のスプリント戦。
- 下級条件ほど前残りで上級条件になるほど差しが決まる。
- 開催前半ほど前残りで開催後半ほど差しが決まる。
- 戸崎騎手、デムーロ騎手、菱田騎手、下河辺牧場生産馬あたりの成績が良い。

福島芝1800m

1コーナーまでの距離が短いため、逃げ先行が圧倒的に有利な舞台



スタートしてすぐに1コーナーを迎えるコースレイアウト。それでいてコーナー半径が小さくて直線が短いとなれば圧倒的に逃げ先行が有利になるのは当然。全クラスにおいて逃げ先行馬が有利になっていますが、特に出走頭数が少なくなることが多い2勝クラスでは逃げ先行馬が断然の成績を誇っています。

脚質上り	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	
平地・逃げ	14-	14-	8-	43/ 79	17.7%	35.4%	45.6%	250	171
平地・先行	39-	35-	34-	163/ 271	14.4%	27.3%	39.9%	126	120
平地・中団	14-	19-	24-	306/ 363	3.9%	9.1%	15.7%	27	51
平地・後方	6-	3-	6-	299/ 314	1.9%	2.9%	4.8%	45	34
平地・マクリ	1-	3-	2-	6/ 12	8.3%	33.3%	50.0%	16	334

※福島芝1800mの脚質別成績(2022年6月~)

好走データで言えば種牡馬はシルバーステートを代表とする少し重めのディーピンパクト系やスクリーンヒーロー。騎手は戸崎、西村、デムーロあたり。それ以外ではノースヒルズ生産馬の活躍がやたらに多くなっているので注目したいです。

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ゴールドシップ	9- 3- 5-41/58	15.5%	20.7%	29.3%	88	55
2	キズナ	6- 4- 3-24/37	16.2%	27.0%	35.1%	275	134
3	シルバーステート	6- 1- 0- 9/16	37.5%	43.8%	43.8%	110	60
4	ブラックタイド	4- 3- 0- 9/16	25.0%	43.8%	43.8%	300	200
5	ダノンバラード	4- 1- 3-18/26	15.4%	19.2%	30.8%	361	128
6	ディーピンパクト	3- 2- 3-32/40	7.5%	12.5%	20.0%	38	48
7	ディーブプリランテ	3- 1- 0- 4/ 8	37.5%	50.0%	50.0%	165	91
8	スクリーンヒーロー	2- 7- 1-15/25	8.0%	36.0%	40.0%	28	179

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	戸崎圭太	7- 4- 3-17/31	22.6%	35.5%	45.2%	99	77
2	西村淳也	7- 2- 0-10/19	36.8%	47.4%	47.4%	157	82
3	菅原明良	6- 2- 3-26/37	16.2%	21.6%	29.7%	124	70
4	佐々木大	4- 0- 1-17/22	18.2%	18.2%	22.7%	69	42
5	M. デム	3- 4- 4-12/23	13.0%	30.4%	47.8%	58	87

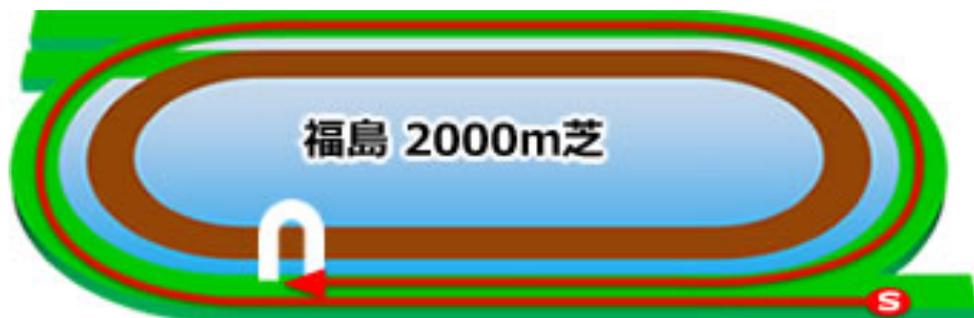
順位	生産者	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ノーザンファーム	14- 15- 7-120/156	9.0%	18.6%	23.1%	52	63
2	社台ファーム	8- 7- 8- 82/105	7.6%	14.3%	21.9%	40	71
3	ノースヒルズ	7- 1- 0- 11/ 19	36.8%	42.1%	42.1%	824	183

<まとめ>

- 1 コーナーまでの距離が短いので逃げ先行馬が圧倒的に有利。
- 特に2勝クラスで圧倒的に逃げ先行有利の傾向。
- ノースヒルズが生産馬がやたらに走っている。
- シルバーステートを代表とする重めのディープインパクト系やスクリーンヒーロー産駒に注目。
- 戸崎騎手、西村騎手、デムーロ騎手あたりが得意にしている舞台。

福島芝2000m

最初のコーナーまでの距離が長くて逃げ馬は不利、好位から長く脚を使える馬有利



芝1800m から1ハロン距離が伸びて1コーナーまでの距離が伸びる分前半のペースが明らかに速くなるのがこの条件の特徴。その分逃げ馬の勝率は下がって先行馬の勝率が上がっているのですが、他のローカルの芝2000mの傾向と比較しても逃げ馬の期待値は低い。かといって後ろからの差しは決まらないので、好位ぐらいいで長く脚を使える馬が有利な舞台です。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	6- 4- 4- 46/ 60	10.0%	16.7%	23.3%	77	72
平地・先行	26- 33- 19-112/190	13.7%	31.1%	41.1%	118	140
平地・中団	18- 16- 26-215/275	6.5%	12.4%	21.8%	65	100
平地・後方	4- 1- 5-241/251	1.6%	2.0%	4.0%	11	9
平地・マク	1- 1- 1- 6/ 9	11.1%	22.2%	33.3%	61	70

※福島芝2000mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2022年6月~)

包まれて脚を余す馬が多いからか、はたまた開催後半の荒れ馬場の影響からか1枠の成績がイマイチな舞台。開幕してすぐならまだしも、少し荒れた馬場では1枠は軽視したいです。

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	2- 3- 6- 72/ 83	2.4%	6.0%	13.3%	33	63
2枠	4- 6- 7- 73/ 90	4.4%	11.1%	18.9%	69	72
3枠	6- 10- 6- 73/ 95	6.3%	16.8%	23.2%	32	69
4枠	10- 9- 6- 72/ 97	10.3%	19.6%	25.8%	64	85
5枠	10- 9- 3- 78/100	10.0%	19.0%	22.0%	88	108
6枠	8- 5- 10- 79/102	7.8%	12.7%	22.5%	37	99
7枠	6- 6- 11- 86/109	5.5%	11.0%	21.1%	69	74
8枠	9- 7- 6- 88/110	8.2%	14.5%	20.0%	88	52

※福島芝2000mの枠順別成績(2022年6月~)

前走平地距離	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
同距離	18- 16- 27-219/280	6.4%	12.1%	21.8%	58	69
±200以内	40- 37- 40-411/528	7.6%	14.6%	22.2%	56	68
±400以内	46- 43- 46-493/628	7.3%	14.2%	21.5%	63	78
±600以内	48- 48- 48-538/682	7.0%	14.1%	21.1%	65	80
今回延長	17- 21- 13-248/299	5.7%	12.7%	17.1%	60	78
今回短縮	14- 12- 8- 78/112	12.5%	23.2%	30.4%	102	111

※福島芝2000m 前走距離別成績(2022年6月～)

最初のコーナーまでの距離が長く、逃げ馬が捕まりやすい舞台設定もあるのか、このコースは距離短縮ローテの馬が非常に好成績。勝率、連対率、複勝率、回収率とどれも素晴らしいデータです。

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	キズナ	6- 2- 5-16/29	20.7%	27.6%	44.8%	349	152

順位	母父馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	キングカメハメハ	5- 6- 3-21/35	14.3%	31.4%	40.0%	146	243

血統データで言えばキズナ産駒や母父キングカメハメハの馬の成績が優秀。どちらもタフさを備えていてこの舞台にイメージが合う血統ですね。

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	丹内祐次	4- 2- 5-20/31	12.9%	19.4%	35.5%	65	88
2	富田暁	3- 1- 2- 6/12	25.0%	33.3%	50.0%	306	164

順位	調教師	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	(栗)中竹和也	3- 1- 1- 6/11	27.3%	36.4%	45.5%	120	100
2	(美)和田勇介	2- 2- 2- 6/12	16.7%	33.3%	50.0%	244	215

それ以外のデータでは富田騎手や中竹厩舎、和田勇介厩舎の成績が良さそうに見えます。

<まとめ>

- 1 コーナーまで距離が長い分でペースが流れて逃げ馬不利。
- かといって差しは決まりづらく、好位ぐらいで長く脚が使える馬が有利。
- 1 枠の成績が微妙。
- 距離短縮ローテの馬の成績が優秀。
- キズナ産駒や母父キングカメハメハの成績が良い。
- 富田騎手や中竹厩舎、和田勇介厩舎の成績が良い。

福島芝2600m

スタミナがしっかり問われて人気のステイヤーが走りやすい舞台



1年を通して高速馬場になることがないエクイターフ比重の大きい福島競馬場で行われる長距離戦。脚質的に有利、不利というのも特になく、長距離条件らしくしっかり溜めてラストに脚が使える馬が有利な舞台。1番人気の複勝率が75%近くありますし、人気のステイヤーが自慢のスタミナを活かしやすい舞台と言えるでしょう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	3- 3- 4- 22/ 32	9.4%	18.8%	31.3%	36	72
平地・先行	13- 10- 11- 61/ 95	13.7%	24.2%	35.8%	68	94
平地・中団	7- 8- 10-105/130	5.4%	11.5%	19.2%	62	63
平地・後方	2- 2- 1-102/107	1.9%	3.7%	4.7%	47	16
平地・マ刈	3- 3- 1- 3/ 10	30.0%	60.0%	70.0%	211	146
3F 1位	11- 9- 6- 8/ 34	32.4%	58.8%	76.5%	337	195
3F 2位	10- 7- 2- 6/ 25	40.0%	68.0%	76.0%	298	221
3F 3位	3- 3- 5- 19/ 30	10.0%	20.0%	36.7%	69	89
3F ~5位	2- 4- 8- 43/ 57	3.5%	10.5%	24.6%	8	79
3F 6位~	2- 3- 6-215/226	0.9%	2.2%	4.9%	6	15

※福島芝2600mの脚質&上がり順位別成績(2022年6月~)

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	丹内祐次	4- 1- 3- 7/15	26.7%	33.3%	53.3%	63	111
2	田辺裕信	4- 1- 0- 2/ 7	57.1%	71.4%	71.4%	260	118
3	菱田裕二	2- 3- 0- 5/10	20.0%	50.0%	50.0%	80	132

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ゴールドシップ	5- 4- 9-26/44	11.4%	20.5%	40.9%	150	126
2	オルフェーヴル	5- 0- 4-11/20	25.0%	25.0%	45.0%	176	121
3	キズナ	3- 2- 3-12/20	15.0%	25.0%	40.0%	61	106

<まとめ>

- しっかりスタミナが問われて人気のステイヤーが走りやすい。
- 丹内騎手、田辺騎手、菱田騎手あたりの成績が優秀。
- ゴールドシップ産駒、オルフェーヴル産駒、キズナ産駒の成績が優秀。

福島ダート1150m

直線平坦なのに前半部分が芝ならそりゃ前に行ったもん勝ちですよ



ダート1000mほど距離は短くないが、このコースは前半部分が芝スタート。芝部分でスピードに乗りやすく、それでいて直線部分が平坦となれば前に行った馬は止まりませんし、下級条件から上級条件まで圧倒的に逃げ先行有利の傾向が出ています。

脚質上り	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	27-	18-	9-	31/ 85	31.8%	52.9%	63.5%	277	163
平地・先行	48-	47-	41-	161/ 297	16.2%	32.0%	45.8%	114	142
平地・中団	9-	17-	24-	423/ 473	1.9%	5.5%	10.6%	34	58
平地・後方	1-	3-	11-	411/ 426	0.2%	0.9%	3.5%	2	20
平地・マ刈	0-	0-	0-	0/ 0					
3F 1位	19-	8-	12-	63/ 102	18.6%	26.5%	38.2%	178	149
3F 2位	15-	10-	9-	53/ 87	17.2%	28.7%	39.1%	169	160
3F 3位	16-	11-	14-	56/ 97	16.5%	27.8%	42.3%	144	145
3F ~5位	14-	26-	12-	115/ 167	8.4%	24.0%	31.1%	40	121
3F 6位~	21-	30-	38-	735/ 824	2.5%	6.2%	10.8%	26	34

※福島ダート1150mの脚質&上がり順位別成績(2022年6月~)

スピード特化型のレースということもあって馬格が大きいほどこのレースは有利。小柄な馬の成績はかなり悪いのでその点は注意したいところ。

馬体重	着別度数				勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
~399kg	0-	0-	0-	15/ 15	0.0%	0.0%	0.0%	0	0
400~419kg	4-	1-	3-	52/ 60	6.7%	8.3%	13.3%	109	54
420~439kg	7-	12-	11-	144/ 174	4.0%	10.9%	17.2%	30	80
440~459kg	21-	18-	25-	237/ 301	7.0%	13.0%	21.3%	68	87
460~479kg	29-	25-	22-	272/ 348	8.3%	15.5%	21.8%	80	75
480~499kg	12-	17-	6-	191/ 226	5.3%	12.8%	15.5%	36	38
500~519kg	7-	8-	12-	87/ 114	6.1%	13.2%	23.7%	40	66
520~539kg	3-	3-	5-	18/ 29	10.3%	20.7%	37.9%	43	145
540~	2-	1-	1-	11/ 15	13.3%	20.0%	26.7%	40	140

※福島ダート1150mの馬体重別成績(2022年6月~)

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	11- 14- 10-112/147	7.5%	17.0%	23.8%	81	100
2枠	7- 7- 8-128/150	4.7%	9.3%	14.7%	40	46
3枠	16- 8- 13-117/154	10.4%	15.6%	24.0%	126	86
4枠	9- 12- 10-129/160	5.6%	13.1%	19.4%	30	77
5枠	10- 12- 9-134/165	6.1%	13.3%	18.8%	34	68
6枠	9- 11- 9-139/168	5.4%	11.9%	17.3%	36	65
7枠	6- 7- 4-151/168	3.6%	7.7%	10.1%	25	33
8枠	17- 14- 22-117/170	10.0%	18.2%	31.2%	98	100

※福島ダート1150mの枠順別成績(2022年6月～)

外枠の方が芝部分を長く走れるということもあってか8枠の成績がなかなか優秀。勝利数や3着内数でもトップですし、回収率でも非常に優秀な数字になっています。

好走データで言えば戸崎騎手、田辺騎手、田島厩舎あたりの成績が優秀になっていますね。

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回値	平均着	平人気
1	永島まな	6- 3- 5-26/40	15.0%	22.5%	35.0%	67	80	91.6	5.9着	4.7人
2	角田大和	5- 2- 1-26/34	14.7%	20.6%	23.5%	117	89	200.1	7.7着	7.6人
3	戸崎圭太	4- 3- 5-11/23	17.4%	30.4%	52.2%	49	83	54.4	4.9着	2.4人
4	丹内祐次	4- 3- 3-20/30	13.3%	23.3%	33.3%	141	109	93.2	6.2着	5.8人
5	松本大輝	4- 2- 3-14/23	17.4%	26.1%	39.1%	92	162	183.3	7.1着	6.9人
6	菅原明良	4- 1- 3-15/23	17.4%	21.7%	34.8%	143	85	151.7	6.7着	5.3人
7	田辺裕信	4- 1- 3- 6/14	28.6%	35.7%	57.1%	150	133	167.2	5.5着	3.9人

順位	調教師	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	(美)田島俊明	4- 5- 3-14/26	15.4%	34.6%	46.2%	123	139

<まとめ>

- 芝スタートで直線平坦となればそりゃ前有利
- スピード特化型条件なので小柄な馬は不利
- 芝部分を長く走れる8枠の馬の成績が優秀
- 戸崎騎手、田辺騎手、田島厩舎あたりの成績が良い

そんな前に行ける馬を見つける上で参考になるのが馬体重。競争馬は大きい馬であればあるほどパワーとスピードに秀でていることが多いですが、函館ダート1000m は明らかに大きい馬ほど成績が良い傾向が出ています。

馬体重	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
～399kg	0- 0- 0- 5/ 5	0.0%	0.0%	0.0%	0	0
400～419kg	0- 2- 0- 12/ 14	0.0%	14.3%	14.3%	0	146
420～439kg	3- 6- 3- 42/ 54	5.6%	16.7%	22.2%	38	41
440～459kg	9- 14- 14- 87/124	7.3%	18.5%	29.8%	34	65
460～479kg	15- 5- 5-105/130	11.5%	15.4%	19.2%	76	42
480～499kg	7- 6- 10- 62/ 85	8.2%	15.3%	27.1%	44	101
500～519kg	6- 6- 6- 19/ 37	16.2%	32.4%	48.6%	72	124
520～539kg	0- 1- 2- 4/ 7	0.0%	14.3%	42.9%	0	105
540～	0- 0- 0- 0/ 0					

※函館ダート1000mの体重別成績(2022年6月～)

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	横山武史	5- 2- 3-11/21	23.8%	33.3%	47.6%	102	87
2	小林凌大	5- 1- 3-18/27	18.5%	22.2%	33.3%	65	63
3	佐々木大	5- 0- 2-12/19	26.3%	26.3%	36.8%	115	59
4	古川奈穂	4- 5- 0-10/19	21.1%	47.4%	47.4%	65	179
5	角田大和	2- 1- 4-16/23	8.7%	13.0%	30.4%	51	79
6	武豊	2- 1- 0- 8/11	18.2%	27.3%	27.3%	93	37

順位	生産者	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	グランド牧場	6- 3- 3-10/22	27.3%	40.9%	54.5%	90	173
2	岡田スタッド	3- 4- 1- 8/16	18.8%	43.8%	50.0%	61	78
3	杵臼牧場	3- 1- 0- 6/10	30.0%	40.0%	40.0%	122	63

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ドレフォン	4- 1- 2- 5/12	33.3%	41.7%	58.3%	335	133
2	シニスターミニスター	2- 4- 0-17/23	8.7%	26.1%	26.1%	93	54
3	ロードカナロア	2- 1- 2-10/15	13.3%	20.0%	33.3%	43	100

騎手で言えば前意識の強い横山武史と古川奈穂。生産者で言えばグランド牧場の成績が圧巻。血統で言えばドレフォン産駒が素晴らしい成績を残している点は覚えておきたいです。また母父にはなりますが、母父サウスヴィグラスと母父サクラバクシンオーはどちらも素晴らしい成績なのでこれも特注血統としたい。

<まとめ>

- ダート1000m は基本的に外枠有利だが函館ダート1000m はそこまででもない
- 圧倒的に前有利な条件で逃げ先行タイプ以外はなかなか厳しい
- 500kg を超える大型馬、横山武史騎手、古川奈穂騎手、グランド牧場生産馬、ドレフォン産駒などが成績良い
- 母父サウスヴィグラス、母父サクラバクシンオーがとにかく走る舞台

福島ダート1700m

小回りダート1700mらしく前に行った馬が圧倒的に有利な舞台



ダート1700mはローカル競馬場に4つあるが、細かいディテールを抜きにすれば札幌競馬場以外はだいたい同じと考えて良さそう。札幌ダート1700mだけは少し傾向が異なるのでその点だけ注意してください。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	32- 24- 11- 80/ 147	21.8%	38.1%	45.6%	289	158
平地・先行	70- 67- 57- 251/ 445	15.7%	30.8%	43.6%	238	153
平地・中団	23- 35- 56- 618/ 732	3.1%	7.9%	15.6%	30	68
平地・後方	4- 3- 5- 545/ 557	0.7%	1.3%	2.2%	18	8
平地・マクリ	4- 4- 4- 9/ 21	19.0%	38.1%	57.1%	156	195
3F 1位	58- 28- 27- 48/ 161	36.0%	53.4%	70.2%	306	211
3F 2位	33- 36- 19- 42/ 130	25.4%	53.1%	67.7%	505	243
3F 3位	24- 26- 25- 73/ 148	16.2%	33.8%	50.7%	285	179
3F ~5位	14- 25- 30- 192/ 261	5.4%	14.9%	26.4%	93	137
3F 6位~	4- 18- 32-1140/1194	0.3%	1.8%	4.5%	2	18

※函館ダート1700mの脚質&上がり順位別成績(2022年6月~)

コーナー半径が小さくて直線が短いコースなので基本的に後ろから行く馬は不利。逃げ馬、先行馬、そして捲り馬の複勝率がそれぞれ5割前後になっており、一方で中団から後ろに構えて途中で動くこともない馬はほとんど来ないコースです。

順位	騎手	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	菊沢一樹	8- 3- 9-50/70	11.4%	15.7%	28.6%	324	226
2	菱田裕二	8- 1- 1-25/35	22.9%	25.7%	28.6%	220	78
3	田辺裕信	7- 3- 3- 8/21	33.3%	47.6%	61.9%	91	96

福島競馬場といえば戸崎騎手というイメージがありますが、函館ダート1000mと同様にこの条件は田辺騎手の成績が非常に良くなっています。調教師で言えば和田勇介厩舎も良い成績になっていますね。

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	シニスターミニスター	11- 7- 8-44/70	15.7%	25.7%	37.1%	113	98
2	ドレフォン	5- 5- 4-36/50	10.0%	20.0%	28.0%	196	87
3	ハニーヒューズ	5- 5- 3-25/38	13.2%	26.3%	34.2%	61	63
4	ルーラーシップ	4- 5- 6-38/53	7.5%	17.0%	28.3%	223	83
5	キングカメハメハ	4- 2- 3-23/32	12.5%	18.8%	28.1%	61	93
6	ダノンレジェンド	4- 2- 2-18/26	15.4%	23.1%	30.8%	107	72
7	オルフェーヴル	4- 1- 3-18/26	15.4%	19.2%	30.8%	590	205
8	ダイワメジャー	4- 1- 1-15/21	19.0%	23.8%	28.6%	51	60
9	マインドユアビスケッツ	4- 1- 0-18/23	17.4%	21.7%	21.7%	124	48
10	ドゥラメンテ	3- 3- 3-21/30	10.0%	20.0%	30.0%	28	60
11	エスケンデレヤ	3- 3- 2- 5/13	23.1%	46.2%	61.5%	144	113

種牡馬別のデータを見ると先行力があって小回りコースに強いシニスターミニスター産駒の成績が優秀。サンプルは少ないですが、エスケンデレヤ産駒も非常に優秀な成績を誇っています。

<まとめ>

- 札幌競馬場以外の1700mコースは前に行く馬が圧倒的に有利
- 田辺騎手、和田勇介厩舎、シニスターミニスター産駒、エスケンデレヤ産駒あたりが特注データ